

成章会の120周年記念事業の一つとして進められている「オオタザクラ」移植について紹介いたします。

東日新聞の一面と社会面⑩に掲載されました。

【東日新聞3月30日記事から抜粋】

① 第25496号 2021年(令和3年) 3月30日(火)
第3種郵便物認可

東日新聞
TONICHI NEWS

発行者/東海日日新聞社
440-0574 愛知県豊橋市東山町90番地 TEL.0532-53-2800 FAX.0532-53-7222 E-mail post@tonichi.net
https://www.tonichi.net

地域を笑顔に

- 2 3 県教職員人事一覧(東三河分)
- 7 中学生女子ウインターカップ豊橋大会
- 5 【催し案内】情報館
- 10 絆を伝えるオオタザクラ植樹
- 6 船子-ルンパシカガ舞三河が-冠舞
- 11 銭湯「人夢湯」内装仕上げ

田原市の成章高OB、サクラ「古里」と学校を取り持ち

同級生リレーで実現

岐阜県白川村でカメラに収めたオオタザクラを見せ、当時の模様を語る武山さん(名古屋市内で)



■橋渡し役 つくったのが、同窓生
植樹のきっかけを 会岐阜地区の役員で

日本のボタニカルアート(植物画)の先駆者・太田洋愛(1910〜88)が発見したオオタザクラが、母校の田原市の成章高校に植樹され、創立120年に彩りを添える。元気を失った「先代」のサクラを悲しんだ同窓生が、このサクラの「古里」と高校を取り持ち、ほかの同窓生と連絡を取り合う「リレー」で移植にこぎつけた。同窓会の一部から「絆ザクラ」と呼ばれており、来月30日、お披露目される。

母校の大先輩が見つけた「オオタザクラ」を植樹 来月30日、お披露目

岐阜市に住む武山教子さん。2017年6月の地区の同窓会で、かつて高校正門横に植えられていた「オオタザクラの樹勢が衰えている」と年報で知った。

年報には太田さんがこのサクラを発見したと記されており、「どんなのだろうか」。18年5月見

岐阜市に住む武山教子さん。2017年6月の地区の同窓会で、かつて高校正門横に植えられていた「オオタザクラの樹勢が衰えている」と年報で知った。

ごろを迎えたサクラの「古里」の岐阜県白川村の本覚寺を訪ねた。

オオタザクラと命名後、岐阜県と村の天然記念物に指定された。「薄紅色が美しい」と感動し、学校に届けたいと思い、「挿し木にしたいので枝をもらえないか」などというところ、原田秀嗣住職は県指定などを理由にいったん断った。

年に見つけたサトザクラの新種。発見者にちなんで命名された。1本が県、もう1本が村の天然記念物に指定された。見ごろは4月後半から5月前半。これとは別に1本が成章高校に植樹された。

しかし、武山さんは年報を見せ、太田さんの後輩と伝えると、原田住職はこのサクラから分かれた本を紹介し、「これは差し上げられる」と譲り受けることになった。その一方で、正門のサクラは少し前に枯れ、切り倒されていた。

(⑩面に関連)

絆を伝えるオオタザクラ植樹

田原 成章高校で創立120周年記念事業の一つとして

田原市の成章高校正門横のオオタザクラが枯れ、同窓会の年報でこのサクラを紹介した同窓会副会長の鈴木雅也前校長は、ガッカリしていた。同窓生の武山教子さんから「植樹の話」の連絡があった時、すでに退職しており、「本当にうれしい」と喜び、学校と同窓会に伝えた。

鈴木さんと同じ副会長だった石黒功会長は、3年後に迎える高校の創立120周年記念事業の一つと考へ、枯れさせな

いたためにも造園業者に頼み、移植に向けて準備を進めてきた。

サクラは、樹齡が約20年の八重桜。高さが約5m、幹回りが約40cm。24日、岐阜県白川村から運んできた業者らによって中庭に植樹された。お披露目式には、太田洋愛さんの息子の修平さんと原田秀嗣住職、市博物館の増山禎之館長が加わ

り、太田さんとオオタザクラの関わりについて対談する。生徒らを中心に約640人が参加する。

■絆の大切さ伝え式に出席する武山さんは「無理なお願いで寺の大切なものをいただいた」と感謝すれば、原田住職は「サクラにとってご縁のあった太田さんの母校に届けるのが一番良い」と話した。石黒会長は「提供を受けたサクラは同窓生の熱い気持ちが詰まった『絆のサクラ』。生徒たちに絆の大切さが伝われば」と語った。



造園業者らによって植樹されたオオタザクラ（成章高校で）



オオタザクラについて説明したプレート（同）